

令和4年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金並びに  
鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

令和4年3月25日  
(一社)日本アルミニウム合金協会

令和3年度の日本経済は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられるとされている。

このような経済環境の中で、当アルミニウム合金業界においては、我が国の自動車メーカーの生産が、感染症の影響による減少から回復することにより、主力の自動車向け鋳物・ダイカスト需要が増加しており、令和3年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要は1,492,800トン(対前年度比108.6%)が見込まれる。

このような状況の中で、令和4年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを次のとおり策定した。

- (1) 鋳物・ダイカスト向け二次合金地金需要については、国内外の自動車生産が、半導体不足などの影響による減少から回復することが見込まれ、増加が見込まれる。
- (2) 圧延向け二次合金地金・二次地金需要については、横ばいが見込まれる。
- (3) 鉄鋼向け二次合金地金・二次地金需要については、横ばいが見込まれる。

以上の状況から令和4年度のアルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを、1,571,300トン(対前年度比105.3%)と策定した。

また、令和4年度鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通しは、288,500トン(対前年度比104.5%)が予想される。

## 令和4年度

### アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通し

令和4年3月25日

(一社)日本アルミニウム合金協会

(単位：トン)

項目	令和2年度	令和3年度実績		令和4年度	
		見込み	前年度比%	見通し	前年度比%
鋳物	281,027	309,400	110.1	316,100	102.2
ダイカスト	801,202	865,200	108.0	936,300	108.2
圧延	199,024	211,200	106.1	211,200	100.0
鉄鋼・その他	93,900	107,000	114.0	107,700	100.7
計	1,375,153	1,492,800	108.6	1,571,300	105.3

注1) 輸入地金を含む。

注2) 平成14年1月より、経済産業省統計の統廃合があり、鉄鋼・その他は当協会推定値となっている。

## 令和4年度

### 鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

(単位：トン)

項目	令和2年度	令和3年度実績		令和4年度	
		見込み	前年度比%	見通し	前年度比%
鋳物	160,171	172,900	107.9	176,300	102.0
ダイカスト	95,861	103,300	107.8	112,200	108.6
計	256,032	276,200	107.9	288,500	104.5

注1) 輸入地金を含む。